

結婚難に陥っているモンゴル人男性のライフストーリー分析 —内モンゴル東部農村地域の事例研究から—

烏英嘎(中央大学)

中国農村地域の男性の結婚難問題に関して、第三次産業発展により人口移動が発生し、アンバランスな結婚市場が現れ、都市では未婚女性、農村地域では未婚男性が集中し、また通婚圏が変動し、女性の結婚相手選択肢が増加したが、男性の結婚相手選択肢が不安定となり、続いて、女性の結婚意識も変容し、男性の人柄より経済面を重視し、男性側に負担をかけていると分析されている。男性の結婚難に関して、客観主義的な事実分析が大事であるが、結婚難に陥っている当事者の未婚男性の意味世界の立場からの分析も必要であると思われる。また、未婚男女の視点から結婚難を分析することが多いが、知り合ってから結婚に至るまで、大きな役割を果たしている親の立場からの研究がまだ少ない。そのため、本稿では、同一人物である未婚男性に2回にわたりインタビュー調査を行い、時系列的に、どのような人生経験をし、本人はそれをどう解釈し、現在独身のままでいるのかを明確にする。また、その母親にも調査を行い、息子や将来の嫁にいかなる期待や要求があり、息子の年齢の変化により、それがどう変容しているかを明らかにしたいと思う。

筆者は2017年から内モンゴル通遼市(旧ジリム盟)ホルチン左翼後旗(科爾沁左翼後旗)モドトソム(茂道吐蘇木)の7つの村(嘎查)の33人に調査をしてきた。本稿では、未婚男性Sさんのライフストーリー分析を中心に、その母親のDさんの語りをその補足として分析したいと思う。2017年、当時26歳のSさんに約2時間の半構造化インタビュー調査を行い、そして、6年後の2023年同じ調査項目をもち、独身のままでいる32歳のSさんに2度目に半構造化インタビュー調査を行った。その時、Sさんの語りから本人の結婚に関してその母親が大きくかかわっていることを知り、Sさんの紹介で母親のDさんにも約2時間半の半構造化インタビュー調査を行った。

その結果、農村地域の結婚難問題の深刻化や未婚男性の年齢が上がるにつれ、未婚男性本人の結婚相手への要求とその親の息子や将来の嫁への要求が変容している。しかし、親子間で結婚意識のギャップが存在している。続いて、未婚男女の知り合うきっかけが増えているが、男性側にとって、付き合うまでのハードルや結婚に至るまでのハードルがより高くなっている。

(キーワード：農村地域、モンゴル人男性、結婚難)